

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区	地区内集落	作成年月日	直近の更新年月日
八幡浜市	真穴	穴井、真網代	令和3年3月22日	令和 年 月 日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	274.7	ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	228.0	ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕作面積の合計	33.7	ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	20.4	ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	2.5	ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	12.65	ha
(備考) ・中心となる経営体は117経営体。 ・5年後に経営規模拡大を計画している中心経営体は、40経営体、拡大予定面積14.58ha。		

2 対象地区の課題

<input type="checkbox"/> 現在の耕作・維持管理	できている農家が多い。
<input type="checkbox"/> 農業後継者・高齢化	真網代…後継者も多く帰ってきており、若い世代が多い。 穴井…急傾斜、北向きの園地が多く、特に南方面は条件が良くない。農家数も少ない。
<input type="checkbox"/> 今後の地域農業の担い手	確保できる見通しである。
<input type="checkbox"/> 新たな農地の受け手確保の必要性	必要。
今後さらに高齢化が加速するため、園内道、モノラック等の整備により、作業効率のよい園地づくりが必要。	

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

・農地流動化委員会(集積・あつ旋)の取組を継続する。 ①親戚 ②近隣耕作者 ③希望者 ④地区内全戸案内(FAX)の順に声かけ。 又は、JAに相談。研修園等研修生への園地としての活用。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

老朽化したクーラー設備の更新。
Iターン等新規就農者の受入れ。
収穫期の労働力確保。
鳥獣被害防止のため、有害鳥獣捕獲者の確保、育成。
負担軽減の取組 園内道、モノラックの整備、AI選果機の導入(家庭内選果の負担軽減)等